



平成 29 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ー ブ ッ ク  
イ ニ シ ア テ ィ ブ ジ ャ パ ン  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 出 斉  
(コード番号:3658 東証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 コ ー ポ レ ー ト 本 部 長 辻 靖  
(TEL. 03-3518-9544)  
当 社 の 親 会 社 ソ フ ト バ ン ク グ ル ー プ 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 孫 正 義  
(コード番号:9984 東証第一部)  
当 社 の 親 会 社 ヤ フ ー 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 坂 学  
(コード番号:4689 東証第一部)

### 特別利益の計上、繰延税金資産の計上、通期連結業績予想の修正 及び通期個別業績予想に関するお知らせ

株式会社イーブックイニシアティブジャパン(以下、「当社」)は、平成 29 年 3 月期連結決算におきまして、下記のとおり特別利益(関係会社株式売却益)及び繰延税金資産を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 12 月 9 日に公表しました「平成 29 年 3 月期通期連結業績予想」を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

併せて、通期個別業績の予想値については、平成 28 年 3 月 10 日の「平成 28 年 1 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」公表時点では開示を省略しておりましたが、今般、前期実績値との対比においてその差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別利益の計上について

当社連結子会社であった、株式会社トキオ・ゲッツ、フォーリー株式会社及び Find Japan 株式会社の株式譲渡に伴い、特別利益(関係会社株式売却益)を連結で 105 百万円、個別で 55 百万円を計上いたします。

#### 2. 繰延税金資産の計上について

上記株式譲渡の結果、個別財務諸表において計上されている関係会社株式評価損が税務上認容され、税務上の欠損金が発生したこと、及びポイント引当金の増加等により期末に存在する税務上の一時差異が増加したことに伴い、繰延税金資産を連結で 57 百万円、個別で 58 百万円計上いたします。その結果、同額の法人税等調整額が計上されます。

### 3. 通期連結業績予想の修正について

(1)平成 29 年3月期通期連結業績予想の修正(平成 28 年2月1日～平成 29 年3月 31 日)

(単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	11,500	0	0	△164	△29.77
今回修正予想(B)	11,982	17	14	11	2.16
増減額(B-A)	482	17	14	175	
増減率(%)	4.2	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (平成 28 年1月期)	7,184	△166	△166	△163	△31.86

(注)当期は決算期の変更(1月 31 日から3月 31 日)に伴い、平成 28 年2月1日から平成 29 年3月 31 日までの14ヶ月の変則決算となります。そのため、前期との比較は行っておりません。

#### (2)連結業績予想の修正理由

売上高は、出版社と連携したポイントアップキャンペーン等により電子書籍配信の伸びが好調に推移したこと、及びクロスメディア事業において大手 EC モールにおける紙・DVD の販売が堅調に推移したことなどを受け、前回予想を上回る見通しです。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の増加や広告宣伝投下の効率化等の結果、前回予想を上回る見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記株式譲渡に伴う関係会社株式売却益の影響及び繰延税金資産の計上に伴い税金費用が減少し、前回予想を上回る見通しです。

### 4. 通期個別業績予想について

(1)平成 29 年3月期通期個別業績予想(平成 28 年2月1日～平成 29 年3月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績(A)	5,199	△118	△103	△20.17
今回発表予想(B)	9,635	82	△73	△14.03
増減額(B-A)	4,436	201	30	
増減率(%)	85.3	—	—	

(注)当期は決算期の変更(1月 31 日から3月 31 日)に伴い、平成 28 年2月1日から平成 29 年3月 31 日までの14ヶ月の変則決算となります。

#### (2)前事業年度実績との差異が生じた理由

売上高については、平成 28 年 5 月に吸収合併した株式会社ブークスの売上高が個別業績に取り込まれたこと、及び出版社と連携したポイントアップキャンペーン等により電子書籍配信の伸びが好調に推移したこと等を受け、9,635 百万円となる見通しです。

経常利益については、売上高の増加や広告宣伝投下の効率化等の結果、82 百万円となる見通しです。当期

純利益については、平成 28 年 12 月 9 日「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、固定資産の減損損失、関係会社株式評価損を計上した一方で、上記株式譲渡に伴う関係会社株式売却益の影響及び繰延税金資産の計上に伴い税金費用が減少したこと等を受け、△73 百万円となる見通しです。

(業績予想に関する注意事項)

本資料に記載しております予想数値は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上